

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2019年2月1日 発行

■ 本号の内容

- 復興大臣に発電所をご視察いただきました
- 発電所の業務をご紹介します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 東京電力廃炉資料館を開館しました



復旧工事が進む富岡漁港（富岡町仏浜釜田）からの初日の出

復興大臣に発電所をご視察いただきました

12月18日、渡辺博道復興大臣に当所をご視察いただきました。

今回のご視察では、当所の概要や震災直後の対応、福島原子力事故の教訓を踏まえた安全への取り組みなどについてご説明させていただきました。

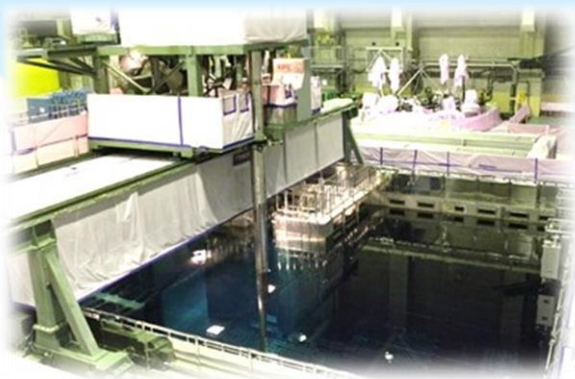
また、燃料を安定的に冷却・保管している使用済燃料プールや電源強化対策の一環として配備したガスタービン発電機車などもご覧いただきました。

渡辺復興大臣からは「安全対策については、しっかりと努力をしている姿が感じられた」「廃炉に向けた具体的な検討を行うに当たっては、関係者の皆さま方とよくコミュニケーションを重ねながら進めていくことが重要である」等のご意見をいただきました。

引き続き、福島復興への責任を発電所一体となつて、果たしてまいります。

燃料の安定冷却

すべての燃料は使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続しています。
冷却設備の日々の巡視や、計画的なメンテナンスを行い、この安定した状態を継続しています。



燃料の保管状況について発電所長の石井から説明を聞く渡辺復興大臣（右から2人目）



高台に配備しているガスタービン発電機車を確認する渡辺復興大臣（左から2人目）

非常時の備え

非常時の燃料冷却に必要な電源や注水手段を確保するため、津波の影響を考慮し高台へガスタービン発電機車や注水用の消防車等を配備しています。
これらを使用した緊急時対応訓練を計画的に実施しています。



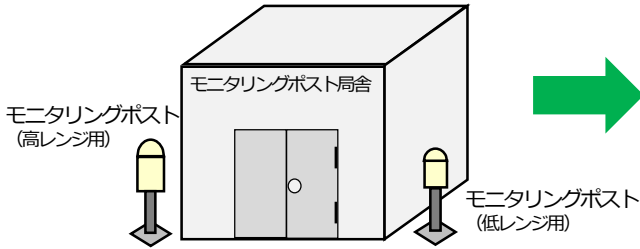
発電所の業務をご紹介します

今回は、防災・放射線安全部
放射線安全グループです

当所では、構内に設置した7か所のモニタリングポストにより、空気中の放射線量を測定し、ホームページで常時お知らせしています（値は震災後、現在に至るまで低下傾向）。

放射線安全グループは、この放射線量を正確に測れるようモニタリングポストの点検などの業務を行っています。

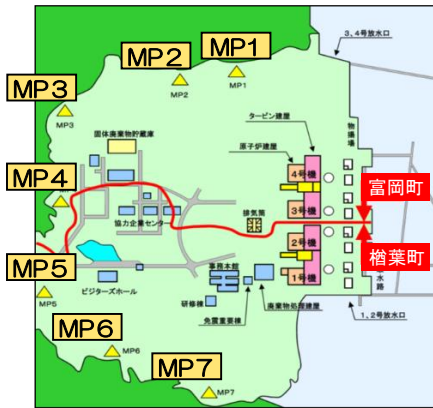
複数のモニタリングポストが同時に使えなくなならないよう、点検は計画的に1か所ずつ実施しています。また、点検時は移動可能な測定装置を代わりに設置し、放射線量を継続して測定しています。



* 平常時の放射線量を測定する低レンジ用と非常時の放射線量を測定する高レンジ用のモニタリングポストを1か所あたりに1基ずつ設置しています。



○モニタリングポスト (MP) の設置状況



地域の方にご安心いただきたい

発電所のモニタリングポストは、平常時から非常時まで広範囲の放射線量を常に正確に測定するための重要な装置です。

日々のパトロールや点検を定期的に行うことで、装置の機能をしっかりと確認しています。

地域のみなさまにご安心いただくために、引き続き正確な情報をお伝えできるよう努めていきます。



放射線安全グループ

くじらおか まさし
鯨岡 優志
(広野町出身)

発電所構内の空間線量

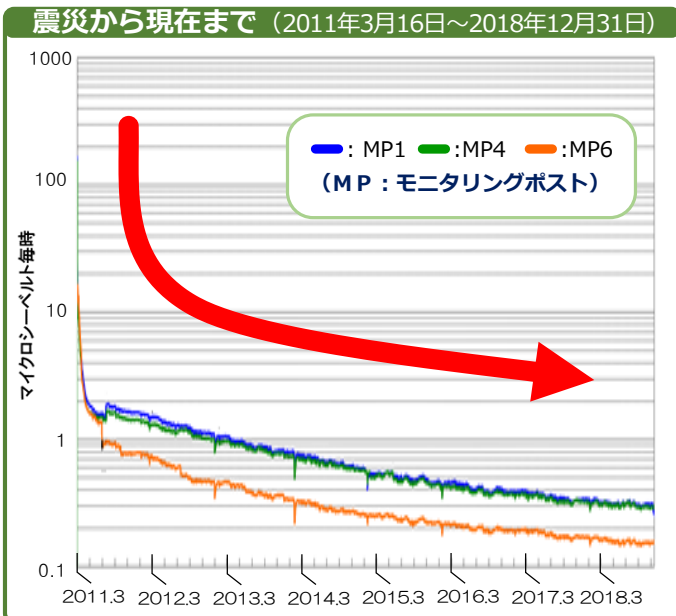
(単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2019年1月28日 時点

0.09 [MP7] ~ 0.32 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (帰還困難区域含む)	0.07 ~ 1.92	楢葉町	0.04 ~ 0.24
広野町	0.06 ~ 0.18	川内村	0.04 ~ 0.28

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2019年1月28日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：福島県放射能測定マップより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

東京電力廃炉資料館を開館しました

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、福島原子力事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を当社施設である旧エネルギー館に設置し、11月30日に開館しました。

館内では、福島第一原子力発電所に関する情報のほか、福島第二原子力発電所における地震発生から電源復旧・冷温停止までの対応や、事故の教訓を踏まえた安全への取り組みについてもご確認いただけます。

記憶と記録・反省と教訓



福島原子力事故を振り返り、その反省と教訓をお伝えします。

廃炉現場の姿



福島第一原子力発電所の廃炉事業の全容と現場の状況をお伝えします。

福島第二原子力発電所の対応



地震発生から電源復旧、冷温停止までの発電所の対応について映像でご覧いただけます。

福島第二原子力発電所の安全への取り組み



震災時の教訓をもとに、安全性向上のための設備対策や所員の技術力強化の取り組みをお伝えします。

東京電力廃炉資料館



所在地：福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378番地
 電話番号：0120-502-957 開館時間：9:30～16:30
 休館日：毎月第3日曜日、年末年始
 入館料：無料（駐車場無料）



編集後記

12月下旬、発電所内で「福島県産品販売会」が開催されました。

販売会では、約60種類の農水産加工品等が並べられ、協力企業の皆さまを含め発電所で働く大勢の人が商品を購入し、用意された商品の多くが売り切れになるなど、大盛況でした。

福島で生まれ育った私も改めて福島の食の魅力を感じました。福島県産の果物が使用されたお菓子がとても美味しく、家族からも喜ばれました。【花】



福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は燃料の安定冷却を継続してまいります。



福島第二原子力発電所の
 ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
 福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
 〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
 TEL 0240-25-1353（受付時間（平日）午前9時～午後5時）
fuku2kouhou@tepco.co.jp（受信専用）